

変える!

かながわ民進党



うらみち健一

季刊
うらみち健一
二〇二八年春号



うらみち健一プロフィール

1968年(昭和43年)
11月26日生まれ。
2015年(平成27年)4月
神奈川県議会議員選挙
二期目当選。

＝政治信条＝
政治は人の幸せを調整する仕事。
その為には、まず街を歩いて本当
の弱者を知らなければならない。

【所属委員会】
議会運営委員会(コメンテーター)
建設・企業常任委員会
予算委員会(理事)

平成29年第三回定例会におい
て、民進党県議団を代表し代表
質問に登壇致しました。

本県の5歳児から9歳児にお
いて肥満傾向児の出現率が上昇
しています。生活習慣病は、健
康長寿の最大の阻害要因であり、
不健全な生活習慣の積み重ねに
より内臓脂肪型肥満となってい
く事が考えられます。子ども
の時に身についた生活習慣を大
人になってから改めるのは大変
である事から、子どものうち
から生活習慣病対策を進めるべき
と質問しました。

生活習慣病の低年齢化への対応について

【問】

香川県では市町が実施する小児生活習慣病予防健診の結果を
もとに実態を把握し、その際、血液検査を行い、子供と家族が
子どもの健康状態を知り、食事・運動・睡眠等の生活習慣を見
直す事ができるよう生活習慣病予防に取り組んでいる。子ども
の肥満傾向が進んでいる本県においても香川県のように、**市町
村と連携した小児の生活習慣病予防の具体的な取組を行って
いく必要があるのではないかと**

【答弁：知事】

子どものうちから取り組む事は、生活習慣病対策を進める上
で極めて重要である。県では食育や体力・運動能力向上を図る
取組や、子どもや保護者への普及啓発、指導者向け研修に取り
組んでいる。子どもに対する対策をより効果的に進めるには、
周囲が子どもの変化に気づき、早い段階から対応していく事が
重要で、血液検査等も一つの方策である。県では市町村での健
康づくり事業を、より効果的に進めていく為に、**国民健康保険
などのデータを活用し地域課題を分析し、県と市町村が一体と
なり課題解決策を検討する場を設け、どのような対策が効果的
なのか、市町村の意向を確認し十分に話し合っていく。**



県営住宅の方の半分の約4万人が60歳以上の高齢者であ
り、60歳以上の高齢者がいる世帯は72%と、高齢化が急速
に進んでいます。足腰が弱くなったり、病気や怪我等によ
り、毎日の階段の昇り降りが困難になっている方が多い為、
低層階への住み替えについて質問しました。

県営住宅における住み替えについて

【問】

高齢により足腰が弱くなった方、病気や怪我により足に障
害が生じてしまった方などの希望を受け付け、階段の昇り降
りの負担が少ない、一階やエレベーターのある住棟へ住み替
える事を可能としている。しかしながら希望しても順番待ち
でなかなか実現しないとの声を聞く。希望者の中には、同じ
団地だけではなく、他団地も含め幅広く住み替え先を紹介す
るなど工夫し、取り組むべきである。**入居者の高齢化が進む
県営団地における住み替えについて、今後どのように取り組
んでいくのか?**

【答弁：知事】

病気や高齢により階段の昇り降りが難しくなった場合、希
望による住み替えを実施している。これまでは希望順を優先
し、保留者に住み替え条件が合う住宅が見つかるまで、繰り
返し打診し、次の希望者への紹介を差し控えていた。今後は、
次の希望者を優先する等のルールを策定し、今年度は空き家
修繕費を前年度比一・五倍に増額している為、速やかに修繕
工事を実施し、少しでも多くの空き家を住み替え先として利
用出来るよう、住み替えが円滑に進むよう取り組んでいく。



